

■千葉県松戸市立六実中学校が農業体験に来県



さつまいもの収穫

9月7日(月)、千葉県松戸市立六実中学校2年生220名が、教育旅行の一環として白河市表郷を訪れ、農業体験を行いました。

あいにくの雨模様でしたが皆さん笑顔で、白菜の定植、さつまいも、ジャガイモ、ラディッシュの収穫作業を体験した後、県南地方の農産物を使って調理体験を行いました。

10月には、地元産新米のコシヒカリを農業体験のお土産として中学校へ贈りました。

県外の学校からも農業体験の実施希望が出てきたことはとてもうれしい限りです。

今後も、県南地方により多くの学校が訪れるよう、体験メニューの充実と受入体制の確立を図ってまいります。(企画部)

■農事組合法人深渡戸アグリ21が設立されました



設立総会の様子(代表のあいさつ)

9月30日(水)、白河市表郷の深渡戸集会所で、「農事組合法人深渡戸アグリ21」の設立祝賀会が、組合員をはじめ、集落の方々、白河市長、県南農林事務所農業振興普及部長等の出席の下、盛大に開催されました。

深渡戸では、「一集落一農場」を目標に、平成12年に集落営農組織「深渡戸アグリ21」を設立し、「水稻+転作大豆」の組み合わせで大豆の連作障害回避のため集落の水田をブロックローテーション化しながら、双方の安定生産に努めてきました。

その後、国の制度改正に伴い、平成19年には特定農業団体となり、更なる受託面積の拡大に伴い、今般、農事組合法人として新たなスタートを切ったものです。

なお、同法人が生産した大豆は、地区内の大豆加工業者と連携し納豆に加工され、消費者に好評を博しています。(農業振興普及部)

■福島県森林審議会の現地調査が行われました



ウッドALC工法建築現場調査

10月8日(木)から9日(金)に、福島県における森林・林業関係の計画策定に関する審議等を行う福島県森林審議会の現地調査が行われました。

審議会委員9名が参加し、ふくしま森林再生事業施工地(森林整備事例)→奥久慈木材流通センター(流通施設)→株式会社協和木材(製材施設)→ウッドALC工法建築現場(木材利用事例)→白河ウッドパワー(発電施設)を訪れました。

素材生産と木材流通の状況、大規模製材施設におけるスギ集成材の製造工程、最新の建築技術による木材利用事例や木質バイオマスの利用状況を調査しました。

(森林林業部)

■知っていますか？「食品表示」

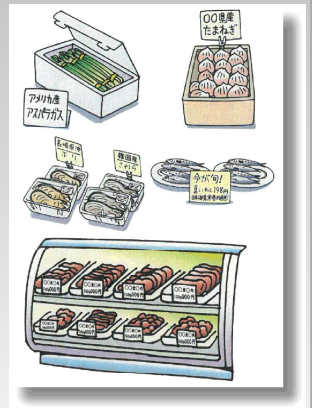
平成27年4月1日から「食品表示法」が施行されました。

この法律は、従来の「JAS法」「食品衛生法」「健康増進法」の三法の「食品表示」にかかる部分を、一つにまとめて整理したものです。

「食品表示」とは、簡単に言うとみなさんが普段のお買い物の際に目にする生鮮食品の「名称」「原産地」のポップやシールの表示や、加工食品であれば包装の後ろ側の「原材料」「内容量」「製造者」等の表示のことでです。

「今日の晩ご飯は、国産和牛のすきやきにしよう♪」とお買い物に行ったときに、産地や名称の表示が無いとどのお肉を買えば良いかわからなくなってしまいますよね？このように毎日の食生活と切っても切れない「食品表示」。企画部では、販売されている食品の食品表示がきちんとされているのかを確認する調査を毎月行っています。

いつも食べている食材はどこで作られたものなのかな？明日からと言わず、今日から気にしてみてください。(企画部)



■多面的機能支払交付金の取組(矢吹町 長峰農地維持組合)



地域住民参加による美化活動

「多面的機能支払交付金」とは、水源のかん養、自然環境の保全、良好な景観の形成など、農業・農村が有する多面的な機能の維持・発揮を図るための「地域の共同活動」を支援するための事業です。

県南管内では、203箇所の地域で取り組まれており、今回は、矢吹町の「長峰農地維持組合」の取組を紹介します。

長峰農地維持組合(構成員:農家60名、非農家5名、育成会ほか3団体)では、ほ場整備事業の実施を契機として、平成26年度から当交付金を活用した地域活動に取り組んでいます。

構成員全員が排水路の土砂払いや土手の草刈作業を共同で実施しており、個人作業の負担が大幅に軽減されています。

また、本年度から、非農家の地域住民との交流を目指して花苗の植栽を行うなど、新たな活動にも積極的に取り組んでいます。

これらの共同活動を通して、構成員同士が顔を合わせ、話をする機会も増えたことから、集落や年代の差を超えたコミュニケーションが活発になり、地域の活性化が図られています。(農村整備部)

■林業事業体等への労働安全現地指導について



巡回指導実施状況

県南地方の林業・木材製造業においては、平成27年4月から10月までに、休業4日以上労働災害が4件発生しており、例年に比べて、労働災害多発の傾向がみられます。

このため、森林林業部では森林整備事業等の実施現場における巡回指導の強化や研修会の開催、異業種工場への安全対策視察など、様々な活動に取り組んでいます。

巡回指導においては、現場作業者とできるだけコミュニケーションを図りながら、現場作業者自らの気づきを促し、リスクアセスメントを徹底す

るよう指導しています。

また、安全対策では、異業種の大手製造工場の視察を行い、安全管理体制、研修体制、リスクアセスメントなど長年培われた「安全第一」の取り組みを学ぶことができました。

今後は、様々な機会を用いて現場の安全確保に関する情報を提供するとともに、外部講師を招いた研修会を開催し、安全衛生対策を強化する計画です。

これから本格化する素材生産活動において「安全第一」の徹底を目指し、各現場や作業員一人一人へ働きかけていきます。(森林林業部)



外部講師による研修会

お知らせ

■現在、米の全量全袋検査が実施されています

この検査は、「出荷・販売用米」、自家用の「飯米」、親戚等に配る「縁故米」、食用となる「ふるい下米」、「飼料用米」など県内で収穫された全ての米が対象となりますので、忘れずに受検してください。

検査方法等については、最寄りの市町村、ふくしまの恵み安全対策協議会、県農林事務所、県水田畑作課までお問い合わせください。

検査結果は、米袋の認識番号ごとにホームページで公開しています。

(<https://fukumegu.org/ok/kome/>)



(農業振興普及部)

■大豆・小豆・秋そばのモニタリング検査について

27年産大豆・小豆・秋そばのモニタリング検査は、旧市町村ごとに実施し、検査結果が出るまで、出荷・販売はできません。

出荷の可否については、県水田畑作課のホームページ(<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36035b/>)で確認できます。

検査結果は、「ふくしま新発売。」(<http://www.new-fukushima.jp/>)のホームページをご覧ください。(農業振興普及部)



■県内巡回復興パネル展の開催

東日本大震災で、県内の農地・農業用施設は甚大な被害を受けましたが、農家の皆さんや関係機関等の努力により、復旧・復興は着実に進んでいます。

そこで、県南地方をはじめ、県内全域における農業生産基盤の復興への歩みを紹介する「復興パネル展」を開催しますので、ぜひ御来場ください。

(農村整備部)

○日時:12月4日(金)13時~12月13日(日)16時まで

○場所:白河市立図書館 1階 地域交流エリア エントランスギャラリー(白河市道場小路96-5)

■第4回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンの開催

旬の農林水産物をPRし、消費拡大を推進するためのキャンペーンを開催します。

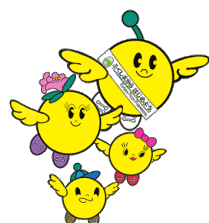
新米の食べ比べや新米・シイタケが当たる無料くじを行いますので、是非ご来場ください。(企画部)

○日時:11月15日(日) 10時~13時

○場所:道の駅はなわ

おいしい
いただきます
ふくしま

Digital
Fukushima
Itadakimasu



農林業に関する相談などお気軽に御連絡ください!

福島県県南農林事務所 企画部

〒 :961-0971

住所:福島県白河市昭和町269[白河合同庁舎]

電話:0248-23-1577

平成27年11月6日発行



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

清らかな源流の里 県南農林だより

第8号



泉崎村烏峠からの眺望

農林業関係の動き

JA合併予備契約調印式を挙行

10月7日(水)、JAしらかわセレモニープラザにおいて、JAすかがわ岩瀬、JAあぶくま石川の3JAによる合併予備契約調印が行われました。

これは、平成24年の「第38回JA福島大会」において決議された「県内17JAを4JAに統合する」合併構想に基づき、県南地区JA合併推進協議会において協議を重ねてきた結果によるものです。



調印後固い握手をする各組合長

新JAの名称は「JA夢みなみ」、キャッチコピーを「“地域の懸け橋”それが私たちJAです」とし、平成28年3月1日に新JAを発足することとしています。

なお、JA東西しらかわは今回の調印に加わりませんが、引き続き合併に向けて協議を続けていくこととしています。

(企画部)

目次

農林業関係の動き

- ◇JA合併予備契約調印式
- ◇福島県農業賞の受賞
- ◇千葉県の中学生在が農業体験
- ◇農事組合法人深渡戸アグリ21の設立
- ◇福島県森林審議会の現地調査

コラム

- ◇知っていますか？食品表示
- ◇多面的機能支払交付金の取組
- ◇林業事業体等への労働安全現地指導

お知らせ

- ◇米の全量全袋検査について
- ◇大豆・秋そば・小豆のモニタリング検査
- ◇福島県農林水産部県内巡回復興パネル展
- ◇第4回「おいしい ふくま いただきます！」キャンペーン

福島県農業賞 角田輝明・信子御夫妻が受賞



受賞された角田様
(右は代理出席の娘さん)

9月4日(金)、杉妻会館(福島市)で第56回福島県農業賞の表彰式が開催され、白河市の角田輝明・信子御夫妻が農業経営改善部門において栄誉に輝きました。

角田さんは、昭和49年にトマト栽培を開始し、その後、ハウスを増設するとともに食味を追究して、根域制限による中玉トマトの高糖度栽培技術を確立されました。

また、規格外トマト等を活用した6次化商品の開発にも取り組み経営発展を図られており、これらの業績が高く評価されました。

今後、益々のご活躍を御祈念申し上げます。

(農業振興普及部)